



看護支援部・総合室管理部ニュース



2026年7月号（第1号）

今月は、感染管理課とがん化学療法課より報告です。

【感染管理課】

今年度の取り組みを紹介します

文責：右田早苗

感染管理課では、現場の感染対策を担う「感染リンク」のメンバーと協力し、チーム医療で院内感染防止を推進しています。今年度は以下の部署を中心に、各種サーベイランスおよび感染予防活動に年間を通して取り組んでいます。

全病棟	中心静脈カテーテル関連血流感染予防（CRBSI）
北1階	末梢静脈カテーテル関連血流感染予防（PLBSI）・尿道留置カテーテル関連感染予防（UTI）
手術室・北2階	手術部位感染予防（SSI）※消化器外科対象
総合外来	血液培養コンタミネーション低減活動・発熱患者対応の「外来エリア導線マニュアル」修正
透析センター	感染症対応マニュアルの作成

感染リンクとは？

現場のマニュアル遵守の監視、サーベイランス結果の現場への還元・指導・周知を行う、院内感染防止のキーパーソンです。今年度は上記のほか、全館での「マスクの適正使用（啓発動画作成）」や「手指消毒剤の使用回数向上」にも力を入れています。今年度も笑顔で頑張っていきますので、感染対策にご協力をよろしくお願いします★



【がん化学療法課】

CVポートの針が変わりました

文責：佐藤絵美

C Vポート針が従来のもから、**誤穿刺防止機構付き穿刺針**へ変更になりました。



コアレスニードルセット



セーフタッチ
コアレスニードルセット

セーフタッチコアレスニードルセットの利点

- ・誤穿刺防止付きヒューバー針
抜針と同時に針先をプロテクト
- ・針刺し防止だけでなく、体液曝露も防止可能
- ・皮膚との接触面がフラットなため安定した留置、固定が可能

抜針方法



①固定翼を指先で抑え、もう片方の手で把持部を持ちロックを外します



②指で翼を固定した状態で把持部を垂直に「カッチッ」と音がるまで引き上げます



③ポートから抜かれた針が納められていることを確認します



上の写真が針先まで確実の収納された状態です

・院内共通マニュアルに格納されている、がん薬物療法関連マニュアルの中のC Vポート管理も併せてご確認ください!!